

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 江東区立八名川小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 135-0007  
江東区新大橋3-1-15

E-mail : t-tejima@koto-edu.jp

Website : http://www.koto.edu.jp/yanagawa-sho

児童生徒数：男子 190名 女子 184名 合計 374名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1 教科横断的な学びの構築

#### ①全学年における NEW!ESD カレンダーの作成

従来の ESD カレンダーに、「指導時数」「単元のねらい」「主な学習活動」「地域人材との連携」を入れ、NEW!ESD カレンダーの作成を行った。そうすることで、教員の異動や学年の入れ替わりがあっても、教育活動の継続性・発展性を保つことができるようになった。

第6学年 ESDカレンダー		江東区立八名川小学校											
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語		学級討論会をしよう		伝えられてきたもの			自分を見つめ直して		平和について考える				
算数								資料の調べ方・平均					
理科		体のつくりと働き			生物とその環境		大地のつくりと変化			生物と地球の環境			
社会					江戸の文化をつくりあげた人々		長く続いた戦争と人々の暮らし		日本とつながりの深い国々		世界の未来と日本の役割		
総合		未来へはばたけ			江戸・深川の歴史を調べ、町を語ろう				世界の平和って何？ 私たちにできることって何？				
英語						町の紹介できるかな							
特活			稲荷ずしをつくらう							八名川まつり			
道徳		長生きばんざい				古きよき心		同じ地球の子どもたち		世界が100人の村だったら			
音楽													
図工						12年後の私							
体育			病原体と体の抵抗力				喫煙・飲酒・薬物						
家庭							日常の食事と調理の基礎					これからの自分	
		環境の教育		国際的な理解と協力		人権・命の教育		学習スキル					

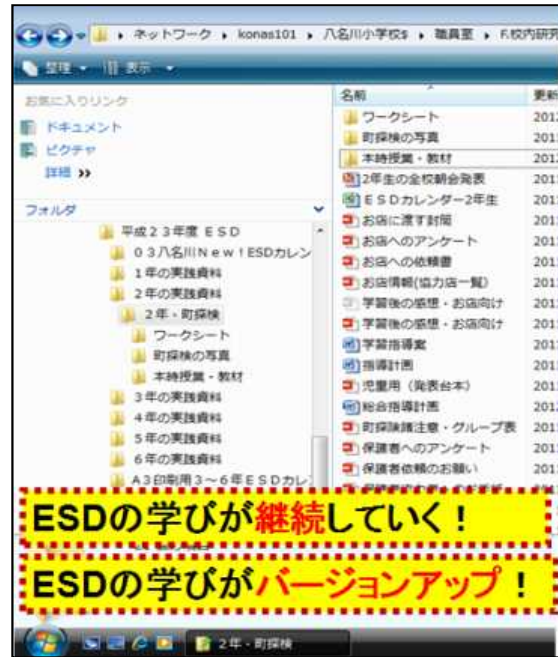
NEW!ESDカレンダー

総合的な学習の時間 第6学年 指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名「未来にはばたけ」(20時間)			単元名「江戸・深川の歴史を調べ、この町を語ろう。」(24時間)				「世界の平和って何？ 私たちにできることって何？」(26時間)				
<p>【ねらい】 日本には世界に貢献できる優れた技術があることを学び、他者と協力しながら様々な活動を創り出している人々の取り組みについて知る。</p> <p>【学びに火をつける】 ○今ある仕事は数年後にはなくなるという調査結果をもとに、自分の将来の仕事について考える。 ○ゲストティーチャーを招き、日本には世界に誇れる技術があることを知る。 【調べる】 ○自分が興味をもっている職業の分野について、調査し、その分野に関する仮説を自ら立て、実験、検証を行い、結果を出す。 【まとめる】 ○結果をもとに、自分自身で仮説と照らし合わせ結論を出し、プレゼンテーションをつくる。 【つたえ合う】 ○八名川まつりで、他の学年や保護者、地域の大人、来校者の方々にプレゼンテーションをする。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○「OTA」社長 太田寛治さん ○「オリエンタルランド」松本浩一さん</p>			<p>【ねらい】 自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、地域に対する誇りや愛着を育て、日本人としてのアイデンティティを育てる。</p> <p>【学びに火をつける】 ○復讐覚教材や歴史小説家の牧さんの話をきっかけに、自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、「自分たちも様々な切り口からこの町の歴史や文化を語れるようになる」という課題意識を明確にする。 【調べる】 ○「物流」「江戸の文化」「連携」「八名川の成り立ち」等のテーマ毎にグループを作り、調べ・発表の準備をする。 【まとめる】 ○グループごとにプレゼンテーションを考えて、つくり、友だちに発表し、課題や工夫についてアドバイスをもらい、練り直す。 【つたえ合う】 ○調べたことをもとに、グループでまとめ、5年生や家族・地域の方にポスターセッションで発表する。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○歴史小説家 牧秀彦先生 ○番所橋資料館 久染健夫先生 ○深川江戸資料館 八名川地域、森下地域</p>				<p>【ねらい】 国際社会と日本の関係について調べ、これからの日本のあり方について考えていく。</p> <p>【学びに火をつける】 ○新聞やニュース、写真、資料などから日本の国際交流や国際協力の様子を知る。 ○平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きに関心をもたせる。 ○ゲストティーチャーの話から世界の情勢を知る。 【調べる】 ○平和な国際社会を目指して、日本が国際社会の中で重要な役割を果たしていることについて調べる。 【まとめる】 ○調べたことをもとにこれからの日本のありかたについて考える。 【つたえ合う】 ○世界の国々の人々とともに生きていくためには何が重要なのか自分なりに考えたことを発表する。</p> <p>【地域人材・関係機関】 ○JICA ○ODW 資料 (国際連合のはたらき)</p>				

②データによる指導資料の蓄積と更新

実践で使用した資料や授業の様子が分かる写真などをデータとして、単元ごとにパソコン上のフォルダーに共有し、次年度の取り組みに活用していく。データは、学習指導案だけでなく、ワークシートや取材先への依頼書など実際に授業を行った時に作った資料を入れていく。こうすることで、ESDの学びが継続していく。また、同じ学習内容を新しい担任がバージョンアップして指導を行っていくので、より発展したものになっていく。



2 問題解決的な学習過程の重視

①問題解決的な単元展開シートの作成

問題解決の過程を「学びに火をつける」→「調べる」→「まとめる」→「つたえ合う」といった分かりやすい言葉でフォーマット化することで、指導の流れをイメージしやすくし、誰でもそれに合わせた学習過程の工夫を行えるようにした。

6. 指導計画 第6学年 総合的な学習の時間 単元名 「世界を知り、私たちにできることを発信しよう」 全30時間

縦横な異文化や活動へとつなげていく。

	学びに火をつける	調べる	まとめる	伝え合う
人権理解・文化理解	<p>学習活動① 3人組の友達とゲームや会話などの活動を通して交流する。</p> <p>学習活動② 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動③ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動④ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑤ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑥ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑦ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑧ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑨ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑩ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p>	<p>学習活動① 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動② 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動③ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動④ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑤ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑥ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑦ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑧ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑨ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑩ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p>	<p>学習活動① 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動② 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動③ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動④ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑤ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑥ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑦ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑧ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑨ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑩ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p>	<p>学習活動① 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動② 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動③ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動④ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑤ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑥ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑦ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑧ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑨ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p> <p>学習活動⑩ 各1人ずつ友達との交流の振り返りをし、感想を共有する。</p>
世界の道徳理解	<p>学習活動① 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動② 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動③ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動④ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑤ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑥ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑦ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑧ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑨ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑩ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p>	<p>学習活動① 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動② 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動③ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動④ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑤ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑥ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑦ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑧ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑨ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑩ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p>	<p>学習活動① 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動② 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動③ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動④ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑤ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑥ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑦ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑧ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑨ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑩ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p>	<p>学習活動① 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動② 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動③ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動④ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑤ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑥ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑦ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑧ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑨ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p> <p>学習活動⑩ 世界の道徳を学ぶための活動を行っている人の話を聞く。</p>

②各学年で育てたい力を明確にした評価規準の作成も行った。子どもにどのような力を育てたいのか指導計画を作成しながら確認することで、環境教育や多文化理解など学習する内容が違って、学年に応じた問題解決力を育てていくことができるようにした。

学習過程	問題解決で育てたい力	ESDで育てたい力		
		1・2年	3・4年	5・6年
	問題を見出す力	① 自分のやりたいことを決める。	① 学んだことから、自分の興味・関心をもとに問題を見出し、その理由が言える。	① 学んだことをもとに、誰もが大切だと感じる問題を見出し、それを整理することができる。
	計画を立てる力 (予想・見通し)	① 自分が立てためあてをもとに活動をする。	① 解決への見通しをもち、活動する。	① 解決への見通しをもって活動し、必要な場合は、計画を修正する。
	問題を追究する力 (解決・追究)	② 活動に必要なものを考えることができる。	② いろいろな方法で集めた情報をもとに、より良い方法で解決する。	② いくつかの資料を吟味し、読み取った内容から自分の考えをもち、解決する。
	分かりやすく表現する力	① 活動したことをみんなに分かるように発表する。	① 調べたり、活動したりして考えたことを工夫して発表する。	① 自分の意見が相手に伝わるように、効果的な方法で発表する。
	振り返る力	① 自分の工夫したことや頑張ったことが分かる。 ② 友達の良い所気づく。	① 自分や友だちの学習活動を振り返り、成長したことに気づく。	① 自分や友だちの学習活動を自分なりの視点をもって振り返り、改善点を考える。
	実生活に活かす力	① 友だちや先生と立てた計画をもとに自分の役割を責任を持って行う。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、何ができるか自分で考えることができる。	① 友だちと話し合い立てためあてに向けて、自分の役割を考え、計画的に実行する。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、何ができるか自分で考えることができる。	① 友だちと話し合い立てためあてに向かって、グループの役割を考え、メンバーと協力し、計画的に実行する。 ② 学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、より良い生活力を考える。
	人と関わる力	① 友だちや地域の人々の話を聞き、感想をもつことができる。	① 友だちや地域の人々の意見の良さに気づき、自分の考えと比べることができる。	① 立場の違う人の考えを取り入れ、自分の考えをより良いものに練り直すことができる。

### ③学びに火を付ける導入の工夫

子どもたちの問題解決能力を育てるには、単なる教え込みだけでは不可能である。指導計画の中に、意外性や矛盾など、驚きや問題意識を感じる場面を作り、「このことを調べてみなくては…」という必要感、「家族や大人に伝えなくては…」という使命感、「自分たちのできることから取り組みたい」という責任感を学習のスタートで、子どもたちにもたせることがとても大切である。このように学習の動機付けをすることを本校では「学びに火をつける」と呼んでいる。

「学びに火をつけるためにどのような工夫が必要か。」年間6回の研究授業で指導法の開発を行った。



K-インターナショナルスクール交流会

### 3 情報の発信・交流による振り返り

#### ①児童による学習発表会の設定

本校では、1月行事に「八名川まつり」を位置づけている。児童の学習を踏まえた全校ESD発表会と言えるまつりである。学年ごとに自分たちの学びをもとにプレゼンコーナーを開き、発表をしたり、聞きに行ったりする。このような活動を通して、児童の発信力や表現力の育成を図った。



#### ②教師による実践交流会の設定等

教師も2月に地域・保護者・ESD関係者に向けた実践報告会を開いている。研究授業がその後どのように展開されたのか、授業でどのような仕掛けをしたら、どのような活動が生まれたのかなど情報交換を行った。

また、今年度も、実践交流会を「ESDパワーアップ交流会」として公開し、ユネスコ国内委員会等の後援も得て、どの地域・校種からでも実践報告を行える場に改め、ESDの拡大と深化を図った。また、様々な機会を通じて、国内外に向けた発信を続けてきた。

この他にも、以下のように、様々な学校と連携を進めてきた。

各教育委員会教育長様、  
各校園長様、  
関係各位、



平成26年12月吉日、  
江東区立八名川小学校、  
校長 手島利夫、

ユネスコスクール 第3回 **ESDパワーアップ交流会のご案内**

後援：日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、教育新聞社

**これからが本番だ！ユネスコスクール**

【日時】平成27年2月7日（土）13時30分～16時30分

【内容】本校及び参加校によるESD実践事例発表  
(午前中は学校公開日ですので授業の参観が可能です)

【講師・協賛会】 東京大学大学院教育学研究科 学校教育高度化専攻 教授  
「21世紀の日本の教育を考える」 教育学博士 北村友人先生  
進行 本校校長 手島利夫

いろいろな学校の実践事例が手に入る！  
ユネスコスクール関係者が知り合える！  
自分の実践が発表でき、意見をもらえる！  
中学も高校も大学の方もどなたでもどうぞ！



【会場・申し込み】

江東区立八名川小学校

都営新橋線・大工橋 森下駅下車 (A1出口) 徒歩3分

〒135-0007 江東区新大橋3-1-15 TEL: 03-3631-2260 Fax: 03-3631-8127

HP: <http://www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/> E-mail: [ttejima@koto-edu.jp](mailto:ttejima@koto-edu.jp)

3月末	日立環境財団発行の季刊「環境研究」に「世界に向けて発信する日本のユネスコスクールの価値と成果」が掲載される。世界発信資料として環境省中川氏がすぐに英訳し、11月の世界大会等で配布が準備される
4/25	校内研修会 講師 文部科学省教育課程課調査官 田村学氏 「ESDの教育で育つ未来への学力」 群馬県安中市新島学園中学校高等学校、江東区立深川第一中学校、南砂第二中校、東雲小学校、大田区大森第六中学校、稲城第三小学校、文部科学省初等中等教育局国際教育課、博報財団、学研教育ジャーナル、JAICA、南九州大学人間発達学部、教育新聞、スウェーデン・オレブロ大学、光文書院、APSD、茨城大学教育学部、横浜国立大学等から参加
5/9	博報教育フォーラムでの手島による講演記録DVD「21分38秒でわかるESDの進め方」の配布を始める。鳥取県岩美郡岩美町立岩美南小学校からの問い合わせを皮切りに、全国各地の学校や関係機関等から12月末現在までに172件の配布依頼や使用した研修の報告が届いている
5/13	江東区温暖化対策課・東京ガスとの連携授業5年に毎日新聞社取材
8/18	11面(くらしナビ・学ぶ)に「地球の未来総合学習で理解」掲載
5/16	NHK俳句さく咲く6年取材(自国の伝統文化学習)
5/18	中国日本教職員招へいプログラムに濱方弥生副校長を派遣
~25	中国語版のプレゼン資料・国内参加者向け資料作成CD100枚
5/20	校内研究会 講師目白大学人間学部長 多田孝志先生【通年講師】 「グローバルな視野から見た八名川小の授業改善」環境省等から参加
6/16	水道キャラバンとの4年授業にジャパンジャーナル誌ESD取材 8月に中国語版と英語版で本校の記事を巻頭に載せて世界発信される
6/17	越谷市立大袋東小学校の校内研究会に講師派遣 「環境教育とESDの違い」を中心に講話
6/21	文部科学省ESDキックオフイベントに参加
6/23	桜丘中学・高等学校(東京都・北区)教員2名派遣受け入れ
7/5	地球環境パートナーシッププラザでのESD研修会に講師派遣
7/8	環境から地域創造を考える総合雑誌BIOCITY(ビオシティ)誌に「ESDカレンダーで変わる日本と世界の学び」が掲載される
7/14	福島県只見町立朝日小学校から訪問受け入れ3年地域安全マップづくり (江東区危機管理課協力授業)等を参観
~15	
7/16	校内研究授業 2年「野菜づくり」越谷市立大沢北小、環境省、エデュペディアより参加
7/24	稲城市議会福祉文教委員会委員長大久保もりひさ様、副委員長岩佐ゆきひろ様はじめ5名の委員様と教育指導担当部長他、議会事務局から3名来校 「ユネスコスクールとESDの拡充」について行政視察、江東区教育委員会と江東区
7/28	議会事務局が対応
7/31	高崎市立六郷小学校の校内研修会に講師派遣 校内研修会、多田先生の講話「持続可能な社会のための教育」の基盤
8/6	吉岡主任研究発表「ESDと生活・総合ってどう違うの」プレゼン事前検討
8/6	大牟田市立倉永小学校に講師派遣
8/18	生活科教育研究会全国大会にて事例発表講師派遣
8/19	エデュペディアより取材エ
8/20	岡山市立三勲小学校より訪問受け入れ ESD世界の祭典推進フォーラムESD実践モデル全国会議(国連大学)にて事例(歴史・文化遺産教育事例「江戸・深川の歴史を調べこの町を語ろう」)を発表、11月に電子書籍『ESDジャパンモデル』として出版される
8/21	ESD市民会議(国連大学)参加
8/26~27	海洋教育夏季研修会にてESD事例発表(「江戸・深川の・・・」)

8/27	ユネスコスクール地域ネットワーク連絡会議参加
9/12	ユネスコスクール世界大会宣言ワーキンググループ会合に出席 校内研究会に国会議員団（参議院議員荒木清寛様、谷谷正明様、衆議院議員高木美智代様、区議会議員関根とも子様、小嶋和義様、江東区教育委員会、教育新聞、公明新聞、毎日新聞・文部科学省2名）来校受け入れ、校内研究授業 5年「ぼくたちの手で地球を守ろう」（カーボンマイナスこどもアクション）市川市立稻荷木小学校・東京家政大学・彦根市立城陽小学校・彦根市立稻枝北小学校・環境省・文部科学省主任視学官等の参加受け入れ、
9/16	ESD世界会議フォローアップ会合企画実行委員会に出席
9/17	茨城県霞ヶ浦環境科学センターにてESDカレンダーを使用して研修
9/18	ESD円卓会議出席
9/20	科学技術振興機構刊 サイエンスウィンドウ誌に6年実践の掲載 ESDフェスタ2014秋 in東京（日本科学未来館）にてESDオフィシャルサポーター白井貴子さんの歌うESDメッセージソング「ぼくらは大きな世界の一粒の命」のダンスを本校児童が披露
9/24	
10/8	目黒区立五本木小学校の校内研究会に講師派遣 国会・参議院予算委員会にて、ESDカレンダーと本校の教育が取り上げられ、質問者の荒木議員からも、回答者の下村文部科学大臣からも絶賛をいただく。ユネスコスクール以外の学校にも広める事が約束される
10/16	BSテレビ朝日「テイバン・タイムズ」より、ESDの授業とその基となる理念に関する取材を受け入れ 4年「人にやさしい町づくり」（バリアフリー・車いす体験、放送日は11/2の1時間番組）、同授業に毎日小学生新聞の取材も受ける
10/17	校内研究授業 3年「食べ物から見える世界」（すがたを変える大豆） インドネシアのユネスコ国内委員会ナショナルコーディネーターと8人の教員たち、そして通訳と案内も兼ねて筑波大学附属坂戸高校教員等の来校を受け入れ、交流を進める
10/18	
10/20	日本教材学会シンポジウム（中部大学会場）にてESDの授業づくりについて講師を派遣（CD資料70部） ユネスコ本部を通じたNHK『日本賞』関係者の学校訪問を受け入れ、世界21の国と地域から36名の訪問団が来校、全校歓迎会・説明会（学校教育におけるESDの重要性について英語版プレゼンで対応）・5年地球温暖化の問題点に関する発表と意見交流等を実施（11/2 NHK『とっておきサンデー』にて放送）江東ケーブル
10/23	TVも取材し、後日放送、CD80枚配布
11/4	時事通信社内外教育ESD特集の取材来校 国立教育政策研究所研究員 丸山英樹様が、バルト海プロジェクト代表の
11/6	Sonderborg（ソーレン）氏（デンマーク）とクリスティー女史（エストニア代表）を同行して来校、本校職員とも懇談 NHK情報番組『情報まるごと』取材 6年「江戸・深川の歴史を調べ、この町を語ろう」学習発表会（深川小学校の6年生の参観あり）（11/11NHK総合ユネスコ
11/6 ~8	
11/10	ESD特集番組で放送） ユネスコスクール世界大会・全国大会に参加、実践事例発表・ポスターセッション、CD400枚等の配布を通じて発信と交流
11/11 ~12	都議会議員野上純子様はじめ葛飾区議会議員上原ゆみえ様、黒柳じょうじ様、山本ひろみ様、小山達也様、江口ひさみ様、葛飾教育委員会、愛知星城高校から来校
11/15	4年「ごみと私たちの暮らし」参観等
11/17	ESD世界閣僚級会合に参加、ジャパンレポート配信、実践データCD『ESD in YANAGAWA』200枚等を配布し発信と交流を推進
11/19	インドネシア大使館主催文化交流会に参加
12/3	校内研究会 1年「あきのおもちゃだいしゅうごう」環境省・林野庁教育出版・枝川

12/8	小学校から参観 K—インターナショナルスクールと6年の交流開始 日本ユネスコ協会連盟と三菱東京UFJ銀行CSR推進部4名来校
12/10	校内研究授業 6年「世界の平和と日本の役割を考える」
12/12	静岡県裾野市教務主任県外研修会として9名、北九州市立北すがお小学校より1名参加、教育出版、環境省等から参加
12/12	4年 社会科見学（えこっくる江東）での学びを日能研より2名参観
12/23	時事通信社内外教育誌「ESDカレンダーの工夫とその意義」取材
1/9	6年「世界の平和と日本の役割を考える」にインドネシアのパンチェシラ大学の春名尋子先生がゲストとして協力授業
1/21	奈良教育大学「教育シンポジウム」にシンポジストを派遣
1/23	白百合女子大学文学部の「総合的な学習の時間」に講師を派遣
2/7	『八名川まつり』を開催（来校者多数）
2/24	福井県勝山市教育委員会から指導主事来校 『ESDパワーアップ交流会』を開催（発表校及び参加者多数） プラスエム教育情報交換会（ESDの推進）に講師派遣

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ )